

JAJA REPORT



2025年1月LINK UP JAJA PRイベント

ジャマイカこども食堂

ハリケーンで被災した貧困家庭の住宅建設支援

子どもたちの通学費用ご支援のお願い

ちょこっとパトワ

今月のジャマイカ料理



Support Locals



小川珈琲×LINK UP JAJA

イベントの様子 >>



小川珈琲 堺町錦店にて、2025年1月19日(日) から 1月28日(火)までの期間「NPO LINK UP JAJA さをり織りアート展 〜ジャマイカと日本を手織りでつなぐ〜」が開催されました。小川珈琲がブルーマウンテンコーヒーの生産国であるジャマイカを訪問する中で出会った、障害者支援や貧困問題に取り組むNPO法人 LINK UP JAJAとのコラボレーションイベントです。1月9日「ジャマイカ ブルーマウンテンコーヒーの日」を記念して、小川珈琲の直営店およびオンラインショップで開催される「勝ち豆”ブルーマウンテンフェア」の一環として行われました。

会場では、LINK UP JAJAが障害を持つ人と取り組んだ手織り作品などを展示し、来場者にはブルーマウンテンOGAWA PLOTコーヒーが振舞われました。また、展示会開催前日の1月18日(土)にはジャマイカの障害者支援の現状を伝えるトークイベントを実施し、LINK UP JAJA代表永村が来場者に向けて

ジャマイカの文化やそこで暮らす障害者の方々の想いについて語りました。

後日、小川珈琲 オウンドメディア「珈琲の広場」にて、このイベントについて紹介して頂きました。「LINK UP JAJA様の活動を知ること、障害を持つ方々の可能性や、創作を通じた自己表現の大切さを実感しました。一杯のコーヒーをきっかけに、多様な価値観や社会課題に触れられる機会を創ることができ、とても嬉しいです。これからも皆様とともに、私たちの未来やコーヒーを取り巻く環境について考え、学び続けていきたいです。」と、イベントに関わって下さったスタッフさんから嬉しい感想を頂きました。小川珈琲とLINK UP JAJAがコーヒーと手織りを通して日本とジャマイカを繋ぐこの取り組み、続いていくと嬉しいです。

小川珈琲 堺町錦店  @ogawacoffee_nishiki

居楽家ごりらでジャマイカナイト!

2025年1月11日、大阪市住之江区に拠点を
持つ障害者団体「NPO法人自立生活夢宙(む
ちゅう)センター」が運営するバリアフリーな居
酒屋「居楽家ごりら」で、NPO法人LINK UP JAJA
のPRイベントを開催しました。当初は定員50
名としていましたが、当日は約60名の方にお越
しいただき、大盛況となりました!

ジャマイカの障害当事者が手織りした作品
の展示販売の他、LINK UP JAJA永村によるジ
ャマイカ活動レポート、ジャマイカ身体障害
者アントニーさんのインタビュー動画、Bun
Bun the MCとRAS TAMANOによるレゲエラ
イブが行われ、居楽家ごりらの料理長パクさん
特製のジャマイカ風料理が提供されました。

「NPO法人LINK UP JAJAは皆さんの支えが
あってこそ」ということを痛感する、アットホーム
で他者とのLINK UP(つながり)を実感できる
素敵な空間となりました。会場にお越しいただ
いた皆さん、夢宙センターならびに居楽家ごり
らの皆さん、本当にありがとうございました。夢
宙センターの代表平下さん通称「社長」に、「今
年の秋に第二弾を開催したい!」とラブコール
を送っています。実現した際には皆さんのお越
しをお待ちしてます!

居楽家ごりら  @gorilla.muchu



LINK UP SUNDAY at アイリーノボリタイ

2025年11月19日、京都・伏見桃山にあるカレーとラム酒とジャークチキンが楽しめるお店「アイリーノボリタイ」でNPO法人LINK UP JAJAとのコラボイベントを開催しました。ノボリタイは一昨年もイベントを企画してくださり、今年は2回目のコラボイベントとなりました。

ノボリタイにゆかりのあるレゲエDJがレコードをプレイしてジャマイカな雰囲気を演出。来場者はスパイスカレーやジャークチキン、ラム酒を楽しみながら、ジャマイカの障害当事者が手織りした作品や写真パネルを鑑賞しました。中には作品を購入してくださった方もいて、感謝感激です。

イベントでは出演者や来場者とお話が出来て、たくさんの方とLINK UPすることができました。アイリーノボリタイ店主のクドウマンさん、トシコさん、お会いした皆さん、ありがとうございました。Likkle more! (リコモア、またね)

アイリーノボリタイ  @noboritai



2025年8月 出店、講演、受け付けています!

2025年7月末にNPO法人LINK UP JAJA代表の永村が一時帰国します。イベントでのジャマイカグッズ販売、学校やセミナーでの講演など、どしどしお声がけください! 皆さんからのLINK UPをお待ちしています! お声がけ、お問い合わせは info@linkup-jaja.irc まで。

ジャマイカこども食堂

2023年からレゲエセレクターのOGA from Jah Works (以下おがちゃん)と取り組んでいる「ジャマイカこども食堂」は、「大好きなジャマイカに恩返しをしたい」という彼の想いと「ジャマイカの子どもや人々を応援する取り組みを広げたい」というNPO法人LINK UP JAJAの思いがマッチして生まれました。普段はLINK UP JAJAが、おがちゃんから資金を預かり、地域の子どもたちに食べ物を振舞いながら日本文化を紹介するなどしていますが、おがちゃんが年に1回程度ジャマイカにやって来る際は、イベントの計画や準備、開催を一緒に行っています。



2024年12月、ジャマイカに戻ってきたおがちゃんと一緒に「ジャマイカこども食堂クリスマススペシャル」を開催し、地域の子どもたちにクリスマスケーキを振舞い、プレゼントを贈りました。30人分用意したプレゼントはあっという間になくなり、多めに購入した巨大ケーキふたつも見事に完売！子どもたちやお母さんはもちろん、地域の代表ミス・キューティーも「いつも私たちのことを想ってくれてありがとう。クリスマスケーキやプレゼントをもらうことが出来ない子どももたくさんいるので、本当に嬉しい」と喜んでくれました。

日本のレゲエファンがおがちゃんを応援することによってジャマイカの子どもたちを支援することができる「ジャマイカこども食堂」。この取り組みを続けることによって、日本とジャマイカの繋がりをより深く、温かいものにしていきたいと思っています。

OGA from Jah Works

📷 @ogajahworks



ハリケーンで被災した貧困家庭の住宅建設支援

2024年7月にジャマイカに上陸したハリケーン・ベリルによって、学校や家が被害を受けました。LINK UP JAJAが活動拠点を置くセントアン県では比較的被害が少なかったものの、住宅の屋根が飛んで雨漏りするなどの被害がありました。

以前から支援している障害当事者のシングルマザーと3人の子どもは、トイレ、風呂、キッチンのない小屋のような家で暮らしています。ハリケーン以前からとても大変な暮らしをしていましたが、ハリケーンによって小屋の木材が痛んで雨風が家に入ってくるようになり、さらに厳しい暮らしを強いられています。

元・町内会長のアデジョンさん(昨年末に町内会長を引退)が「政府の支援を待っているだけではいつまでも状況が改善しない」と独自にファンドレイジングを始め、一家に家を建設することになりました。イギリスの親類や知人からの寄付金、ジャマイカ国内からの寄付金だけではどうしても建設資金が足りないため、NPO法人LINK UP JAJAが窓と屋根にかかる建設資材の費用およそ60万円を「認定NPO法人 被災障害者支援 ゆめ風基金」に申請し、この度申請額全額を助成して頂きました。ジャマイカでは何事も時間がかかるのですが、一日も早く一家が新しい家で人間らしい暮らしが出来るようになるよう祈っています。

被災障害者支援 ゆめ風基金 <https://yumekazek.com/>



子どもたちの通学費用ご支援のお願い

生活保護や障害基礎年金がないジャマイカで障害を持つ人が生きていくのは本当に大変で、多くの場合、上記のお母さんのような貧困状態に陥ります。障害当事者でシングルマザーの子どもたち3人が学校に通うのに交通費が一日1000円かかりますが、お母さんは無職で収入が無いので、子どもたちは週に1日か2日程度しか学校に通っていません。食べ物は近くに住む親族が分けてくれて、子どもの父親が持ってくるお金を利用して何とか生き延びています。



出典:Shutterstock

昨年の夏、ジャマイカ政府が行う貧困者救済制度に乗れば子どもたちの交通費が補助されるかもしれないと知り、何度も役所に問い合わせましたが、お母さんが出生証明書を持っていないため制度を利用できませんでした。現在、元・町内会長のアデジョンさんが地元の政治家に掛け合い、お母さんの出生証明書取得を試みっていますが、いまだ解決の兆しが見えません。目の前の子どもたちが教育機会を失う様子を目の当たりにするのは、本当に辛いことです。

長男は高校1年生、次男は小学3年生、長女は小学1年生です。LINK UP JAJAが長女の就学を手伝ったので、個人的にもとても思い入れのある家族です。教育の機会を逃すと貧困のサイクルを断ち切ることができません。子どもたちの通学費を支援してくださる方は、銀行振込やSyncable決済で「通学費」と書いてご寄付ください。決済手数料を引いた全額を子どもたちの通学費用に充てさせていただきます。皆さまからの温かいご支援をお待ちしております。

Eeeehhh? (イー?)「えー？」

「えー? そうなの?」というように驚きを表す時、ジャマイカのパトワでは「イー?」と言います。日本語の「えー?」と同じ場面で使います。

“ちょこっと”
パトワ

ユ ノウ セ ミ ネバ イート ロブスター イェット
yuh know seh mi neva eat lobster yet.

「僕、ロブスターって食べたことないねんな」

イー? イッ ナイス マン
eeeh? it nice man.

「えー? 美味しいよ。」

今月のジャマイカ料理 スティームフィッシュ

ジャマイカの海で採れる魚には、カマスやフエダイ、ヒラマサなどがあり、揚げたり、煮たり、蒸したりして食べます。香り高い唐辛子スコッチボネットペッパーやタイム、ニンニクなどの香味野菜を使って風味良く仕上げます。ダントツ人気は、スティームフィッシュ! ニンニクや玉ねぎ、タイム、スコッチボネットで風味をつけた魚に、人参、ジャガイモ、オクラをふんだんに入れて蒸し焼きにします。塩味のクラッカーを最後に加えて蒸すのがオツ。魚のダシを吸ったクラッカーがしっとりして美味しい!



出典:tasteatlas.com

JAJA会員さん大募集！

NPO法人LINK UP JAJAを支えてくださっている皆さん、本当にありがとうございます。

お陰様で、2020年12月に発足したNPO法人LINK UP JAJAは2025年4月1日を以って6年目(令和7年度)を迎えました。法人の活動は、皆さんから頂く年会費や寄付金を利用して運営しています。

賛助会員の年会費は年間3,000円です。賛助会員はいわゆる「応援会員」さんです。会員の皆さんには年に4回会報「JAJA REPORT」を郵送し、法人の活動についてご報告しています。

NPO法人LINK UP JAJAの年度は毎年4月から翌年の3月で、年会費は銀行振込やクレジットカード決済でも納めて頂くことができます。ジャマイカでの取り組みを続けていくため、また、取り組みを発展させ持続可能な形にしていくために、皆さんの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

銀行振込で寄付金や会費を納めてくださる皆さまへ

ご入会をご希望される方は年会費3000円をお振込み頂き、info@linkup-jaja.org にメールをお願いします。本文に【①振込名義人 ②振込金額 ③お振込日 ④会報送付先のご住所とお名前 ⑤領収書を希望される方は「領収書希望」とご記入ください。領収書はPDFファイルで送付させていただきます。**メールを頂けませんと会報を発送することが出来ませんので、ご注意ください。**温かいご寄付も下記口座までお願い致します。

振込先: 楽天銀行 第三営業支店(支店番号 253)

(普通) 7194483 エヌピーオーハウジンリンコップジャジャ

クレジットカード決済で楽ちん! Syncable

NPO支援のプラットフォームSyncable(シンカブル)では、クレジットカード決済で会費を納めて頂ける他、自動更新を選んで頂くと毎年度自動的に会費を納めて頂くことが出来ます。NPO法人LINK UP JAJAの年会費(3,000円)の引き落とし日は毎年3月1日です。単発の寄付をして頂くこともできます。

<https://syncable.biz/associate/LINKUPJAJA>

Syncable



～会員登録の流れ～

①サイトにアクセス

②「年会員になる」を選択

③必要事項を記入

④お支払い
会員登録完了!



NPO法人LINK UP JAJA

コロナ禍真ただ中の2020年、ジャマイカを支援するため立ち上がる。コロナによる経済的被害に苦しむものづくり職人を「フェアトレード事業」という形で応援。2022年、社会福祉政策が発展途上であるジャマイカで、仕事に就けず貧困で社会との繋がりを持ちづらい障害者を支援するため「障害者の居場所づくり事業」を立ち上げる。障害を持つ人と手織りやアートに取り組み、彼らが社会から排除されず、地域の中で自分らしく生きることを目指して支援している。

NPO法人LINK UP JAJA(リンコップジャジャ)

大阪府大阪市鶴見区鶴見2丁目22番5-603号

info@linkup-jaja.org

WEB <https://linkup-jaja.org/>

NPO法人LINK UP JAJA

リンコップジャジャ

@LINKUPJAJA